

報道資料

報道関係各位

受講のしやすさを高めるとともに変化する時代の実務的ニーズに対応

「広報PRアカデミー2012」を開講

～ 3月1日から「広報・PR基礎講座」の受講受付を開始 ～

社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（以下、日本PR協会、理事長：森 健）は、講座の編成・構成や内容の大幅な改訂により企業・団体のコミュニケーション業務に求められるニーズへの対応力を強化した広報・PRの総合的な研修講座「広報PRアカデミー2012」を2012年4月から開講します。

「広報PRアカデミー」は、広報・PR業務を担う高い専門性を備えた人材の育成を目的として、日本PR協会が開講する広報・PRに関する総合的な研修講座です。2009年10月の開講以降4年目を迎える「広報PRアカデミー2012」の計画にあたっては、従来の編成・構成や内容の大幅な見直し・検討を実施しました。これにより講座期間の短縮化や受講単位の細分化により受講のしやすさを高めるとともにソーシャルメディアの活用に関する内容を充実させるなど、広報・PRの世界における実務的ニーズに対応する新課程として「広報PRアカデミー2012」を開発しています。各講座はいずれも経験豊富な講師が担当し、広報・PRパーソンに不可欠な知識や実務スキルを確実に習得できます。

日本PR協会では、まず第一弾として、4月13日・16日・17日に開講する「広報・PR基礎講座」の受講受付を3月1日から開始します。なお、各講座は、概ね開講の約2か月前より受講申し込みを受け付けます。

■「広報PRアカデミー2012」のコース編成について

「広報PRアカデミー2012」は、以下の3コース8プログラムで構成されます。

（1）「基礎コース」

比較的経験の浅い広報・PR関係者、広報・PRについて基礎から学びたい方を主な対象とし、実務に必要な基本的な知識や実務スキルの習得を目的とするコース。

- ① 広報・PR基礎講座（2012年4月、全日3日間）
- ② ソーシャルメディア基礎講座（2012年5月、夜間）

（2）「専門・応用コース」

業務に一定の経験を有する広報・PR関係者を対象とし、専門性の高い講義やグループワークなどの演習を通じて広報・PRに関する高度な知識や実務スキルの習得を目的とするコース。

- ① 広報・PRプロジェクト最新事例セミナー（2012年5月～6月、全2回、夜間）
- ② ソーシャルメディア実践講座（2012年4月～7月、全4回、夜間）
- ③ 広報・PR実務スキルアップ講座（2012年9月、全3回、午後）
- ④ プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ（2012年11月～2012年3月、全7回、夜間）

(3)「PRプランナー試験対応コース」

「PRプランナー認定資格」の取得を目的に、講義や演習を通じて合格に必要な知識やスキルの習得をめざすコース。

- ① 1次試験対応講座（2012年7～8月・2013年1月～2月の年2回実施、各々全4回、夜間）
 - ② 3次試験対応講座（2012年6～7月・12月～2013年1月の年2回実施、各々全6回、夜間）
- なお、各コースの詳細は別添資料を参照下さい。

■受講費用

「広報PRアカデミー 2012」の受講費用は、講座の構成、内容により異なります。詳細は、募集開始にあわせて公表します。

なお、4月開講の「広報・PR基礎講座」の受講費用は、以下のとおりです。

種別	3日間一括受講	一日受講
一般	78,750	31,500
PRプランナー	68,250	27,300
日本PR協会会員	52,500	21,000

(単位：円、消費税込み)

■「広報PRアカデミー 2012」の募集受付について

3月1日から基礎コース「広報・PR基礎講座」の受講受付を皮切りに、随時募集し、下記ホームページで詳細の案内と受付を行います。

広報PRアカデミー事務局ホームページ

URL <http://event.prsj.or.jp/event>

日本PR協会は、日本で唯一の公益的性格を備えた広報・PRの分野における“人材育成センター”として、総合的かつ体系的な研修事業を「広報PRアカデミー」を通じて行っています。「広報PRアカデミー」は、日本PR協会に加盟する人材や知的資源の活用することにより企業や団体が単独では実施できない広報担当者養成のための教育・研修サービス適正な価格で提供しています。「広報PRアカデミー」の受講者は新任担当者から経営層までレベルに応じた広報・PRの考え方、知識やスキルを習得でき、企業や団体の広報・PR担当者、広報・PRマネージャー教育に最適です。

以上

※この報道資料は2012年2月28日、東商記者クラブにおいて配布されたものです。

※社団法人日本パブリックリレーションズ協会に関しては、別添-2資料を参照下さい。

●この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

(社)日本パブリックリレーションズ協会

担当: 真部、宮松

TEL: 03-5413-6760 FAX: 03-5413-2147

広報PRアカデミー2012 基礎コース「広報PR基礎講座」

4月13日(金) 1日目	
8:45	8:45 挨拶・オリエンテーション
9:00	パブリックリレーションズの基礎 関西学院大学 北村 秀美氏
10:30	休憩
10:40	広報・PR実務と計画立案の基本 ㈱オズマピーアール 国友 千鶴氏
12:10	昼食・休憩
13:10	コーポレート・コミュニケーションズと企業における 広報・PR活動の実際 ㈱野村総研研究所 野村 武司氏
14:40	休憩(コーヒーブレイク)
14:50	インターナル・コミュニケーション(社内広報)の実際 富士通㈱ 大浦 裕信氏
16:20	休憩
16:30	広報・PRパーソンの心構えと自己啓発 エートゥーゼットネットワーク 石橋 真知子氏
18:00	

4月16日(月) 2日目		4月17日(火) 3日目	
	PR会社の役割と実際 ㈱フルハウス 木村 茂樹氏	新聞、テレビ、雑誌等のメディア特性とメディアリレーションズ ㈱ミラ・ソル 田代 順氏	9:00
	休憩	休憩	10:30
	広報・PRの倫理と法規(著作権等) 三宅坂法律事務所 水沼 太郎弁護士 篠田 憲明弁護士	インターネットの特性と広報における活用 ㈱電通パブリックリレーションズ 細川 一成氏	10:40
	昼食・休憩	昼食・休憩	12:10
	ニュースリリースの基本と作成(講義と演習) ㈱電通パブリックリレーションズ 楠田 和男氏	メディアリレーションズの基本(講義と演習) ㈱ハーバーコミュニケーションズ 五十嵐 寛氏	13:10
17:30			17:30

* カリキュラム及び講師については、変更する場合があります。予めご了承ください。



(社)日本パブリックリレーションズ協会

(社)日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会)について

社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会(PRSJ))は、1964年に結成された日本PR協会と、1974年に設立された日本PR業協会が1980年に、時代に即したPRの在り方を求め、PRの啓発・普及を図るために合併統合されました。現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに学者・有識者を含む約600名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。

主要活動としては、広報・PRパーソンの倫理の徹底や「各種研修セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」の運営等を行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の理解促進と、会員のPRスキル向上を推進しています。

また、2007年より、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を有することを認定する資格制度「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外のPRパーソンや、PRに興味を持つ学生などの幅広い参加をいただいております。

新たに2009年10月から時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、広報力アップを目的とした「広報PRアカデミー」を開講いたしました。さらに、2010年4月には「広報・PR概論(PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト)」を出版し、広報・PRの普及と発展に寄与しております。

社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147

以上